

# 火星のクレーターと表層年代

## Martian craters and surface age

# 出村 裕英[1]

# Hirohide Demura[1]

[1] 会津大学

[1] Univ. of Aizu

火星表層年代は地質判読による相対層序とクレーター数密度に基づいて整理されてきた。マリナー・ヴァイキングによる初期探査、マーズグローバルサーベイヤー・マーズオデッセイによる全球マッピングが終わり、マーズエクスプレスやローバー探査などの新ミッションが更にデータを付加する中、地理情報システムに基づいた複数データを組み合わせたデータの解析・解釈が本格化している。データの空間密度と測定精度が向上する中、従来のクレーター年代学とお互いに見ている時空間範囲が異なることから、解釈整合性について検討しておく必要がある。最近の火星表層進化履歴に関する知見を紹介しつつ、この問題をどう対処してゆくべきか、一案を紹介する。